

## 議会報告会会議録

1 開会日	平成24年5月12日	午後 1時30分 開会	午後 3時30分 閉会
2 場所	月京会館1階多目的ホール		
3 出席議員	渡辺順子議長 (開会あいさつ) 奥津勝子副議長 (閉会あいさつ) 坂田よう子議員 (司会) 関威國議員 (平成24年度予算の主な事業報告) 鈴木京子議員 (主な議案審議報告) 渡辺順子議長 (前回の議会報告会の結果説明) 片野哲生議員 (記録)		
4 傍聴議員	二宮加寿子議員	三澤龍夫議員	土橋秀雄議員
	竹内恵美子議員	高橋富美子議員	高橋英俊議員
	吉川重雄議員	清水弘子議員	
5 参加者	17人		
6 報告事項	(1) 平成24年度予算の主な事業について (2) 主な議案について ・大磯町部等設置条例 ・大磯町介護保険条例の一部を改正する条例 (3) 前回報告の結果について ・議員報酬等 (4) その他		
7 その他			

平成 24 年度第 1 回(5 月)の議会報告会は、より多くの方の参加の機会をふやすため、曜日・時間帯を工夫し、3 会場で実施した。今回は第 2 会場にあたる。

議員自己紹介の後、議長からあいさつを行い、各報告担当議員から『議会だより大磯』第 164 号を資料として、予算や主な議案に対する審議経過を報告し、質疑応答を行った。

#### (1) 議長あいさつ

議会基本条例に規定する議会報告会のあり方について説明。

議会報告会は、議案審査における議論の経過・結果など議会としての考え方を報告するものであり、町に替わって答弁するものではない。また、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。いただいた意見・要望は、今後、政策提言に結びつけるなど、議会運営の改善を進めていくことを説明した。

#### (2) 平成 24 年度予算の主な事業について・・・関威國議員報告

『議会だより大磯』第 164 号の 2・3 ページに基づき、平成 24 年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

##### ◎主な質疑

問： 防災対策、防災無線、耐震補助等の今年度予算計上額は。大磯町に活断層が見つかり神奈川県下でも 3 番目に危険な町とされている。防災対策費が 3,400 万円程度で町民の安全が守れるのか。

答： 足りるとは思っていない。5 月の機構改革で、危機管理対策室が町長直結の部署となった。町がしっかり取り組んでいくと思うので、議会もどのように対策が取られていくのか、しっかりとチェックしていく。

問： 国府本郷西小磯 1 号線（マリア道）に 1 億 4 千万円計上されているが、道の整備は国際学園が行うと言っていた。マリア道の整備よりも防災対策を優先させるべきである。津波対策、耐震診断補助、耐震工事などしっかりチェックしてほしい。

答： 当初、道の整備を国際学園が行うという話があったが、はっきりはわかっていない。用地買収もまだ途中で、総工事費も未定である。優先順位を考え、マリア道の件は町と国際学園の関係も把握しながら、議会がしっかり監視していく必要があると思っている。また、防災対策費では、宝くじの交付金を一般財源に組み込み、財源を確保することも町は検討している。

問： 資料に議員紹介名簿（所属委員会、会派、公職などが記載されたもの）を提出してほしい。

答： 大変よい提案をいただいた。次回の議会報告会からは用意する。

問： コンビニ収納で取扱う 4 税目とは何か。

答： 住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税をコンビニなどで納められるよう、調査委託費がついた。

(3) 主な議案について・・・鈴木京子議員報告

3月定例会で審議された議案のうち、「大磯町部等設置条例」及び「大磯町介護保険条例の一部を改正する条例」の二つ議案について、『議会だより大磯』第164号の5・6ページに基づき、審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 道路に穴が空いて連絡をしたときに、すぐやる室の対応が早くてよかった。

答： 気づかれた内容を議会に示していただき感謝する。意見を町に伝えていく。

問： 最近、学校の体質が変わったと感じる。歴代教育長のほとんどは学校の先生経験者であり学校と教育委員会が仲良しクラブとなる。企業退職者などが教育委員会に入ったほうがよい。教育長人事を議決する議会にも責任があるのではないか。

答： 人事案件は非常に難しい部分があり、実行できない部分もある。しかし、議決案件であるため意見を受け止めて、町側とよく話し合い対応していきたい。

問： 議員の高齢化（65歳以上）、多選の問題点を考えてほしい。2期8年を超えると護りに入る。65歳以上は立候補できない方法などを考えてはどうか。

答： 年が変わりなく、いつも新鮮な気持ちで取り組んでいくことが大事だと思っている。しかし、意見を胸に刻み、後継者を育てていく努力も必要かもしれない。

(4) 前回報告の結果について・・・渡辺順子議長報告

前回(平成23年5月)の議会報告会において、議員報酬等について多くの意見をいただき、議員報酬検討特別委員会において結論を出した。その内容について、報告した。

(5) その他

全体を通して、質疑を行った。

◎主な質疑

問： 国際学園の保証金の未払いが続くならば、1年契約の更新を止めてはどうか。来年の3月までに保証金の残金が入らないならば契約更新しないことを伝えてはどうか。

答： 議会では議員の一般質問や総務建設常任委員会や同協議会において、チェックしてきている。しっかりと受け止めていく。

問： 旧吉田茂邸再建に当たり、町民が使用できる集会場や研修施設などをつくってほしいがどうか。

答： 町は新しく「大磯町旧吉田茂邸整備活性化等基金条例」をつくった。研修施設等の建設が具体的に出ているわけではないが、県と町とでプロジェクトチームをつくって検討しているので、議会への報告等も含め、今後も経過を見守っていく。

問： 馬場地区の下水道事業は平成 23 年 5 月に完了すると言っていたが遅れているが何時までに完了するのか。特別会計と一般会計の違いはあるが、マリア道に 1 億 4 千万円を投入するのであれば馬場地区のインフラ整備に使ってほしい。

答： 馬場地区の下水道工事は、雨水工事の関係で遅れている。汚水管整備工事の計画には入っているので、平成 24 年度に汚水管の設置が终れば、早くて平成 25 年の 5 月頃に供用開始になると思う。また、事業の優先順位ということについては、議会はしっかりチェックしていくことが必要であると受け止めている。

問： 運動公園南側のトンネルに続く道路は、横断歩道がなく、またカーブミラーも 1 箇所しかなく危険である。対応を考えてほしい。

答： 危険箇所であることは十分承知している。責任を持って町へ申し送りする。

## (6) 閉 会